

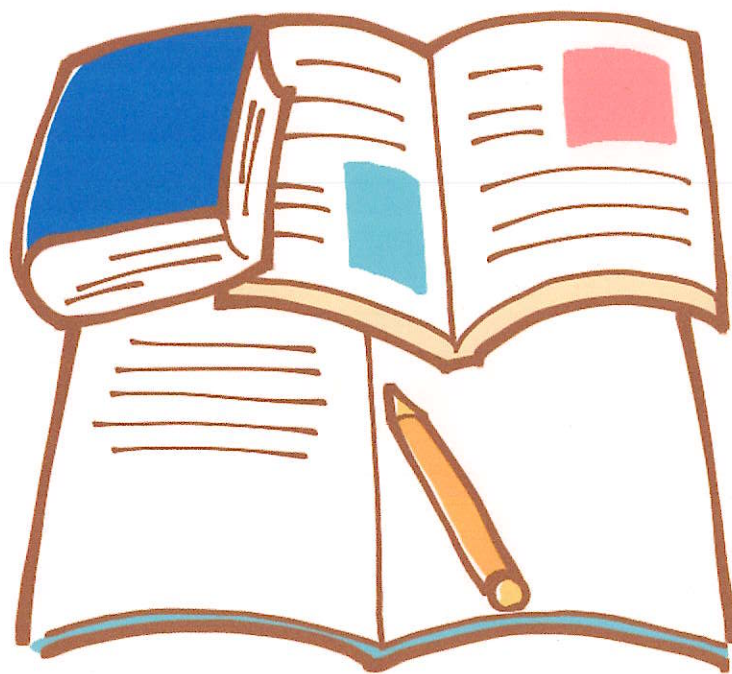
令和7年度

「学習の手引き」

—「家庭学習のすすめ」

「各教科年間計画・評価評定」

—



昭島市立拝島中学校

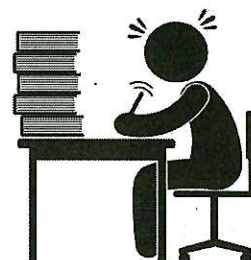
I 自学を大切に

世界は、絶え間なくものすごいスピードで、大きく変化しています。

これからの時代を生きていく上で、学生のときだけでなく、大人になってからも学習をすることは大切です。新しい情報を得て、しっかりと自分の考えをもち、自分なりの生き方をすることが大切になります。

そのために、学生時代（特に中学生時代）に学習習慣をつけることは、生涯にわたって確実に役立ちます。

家庭学習の習慣がついてきたら、宿題や復習だけでなく、ぜひ予習も加えてみてください。新しいことを自分で考えてみることで、授業内容の理解が深まるだけでなく、自分で考え理解しようとする力が付いてきます。



II 学習の「ルーティーン」と生活習慣を整えよう

これまでの学習状況調査から、普段の生活でルールを守る規範意識の高さと学力の間に関係があるという結果が出ています。ちゃんとルールを守れる人は、学力も高いそうです。

「早寝、早起き、朝ご飯」の重要性もさかんに叫ばれています。いつも体調がすぐれなかったり、睡眠不足であったりしては学校での授業にも集中できません。勉強を頑張ることもスポーツに汗を流すことも、「基本的な生活」習慣が身につくことで成果をあげることができます。

ルールを守って、生活習慣を整えて健康的な生活を送ることが、学力の向上にもつながっていくのです。元プロ野球選手・メジャーリーガーのイチローさんは、毎日同じ「ルーティーン」で練習・試合に臨んでいたことは有名です。常に同じ動作をすることで、心を整え、どんな状況でも力を発揮することができるようになりますといわれています。

家庭学習においても同様です。「時間を決める」「場所を決める」「始めるときの動作を決める」など、自分の学習の「ルーティーン」を作ってみてください。

Ⅲ 評価・評定について

(1) 評価場面について

評価の資料は、定期考査や授業内で行うペーパーテストのほか、実技テスト、レポート、作品、ノート、授業中の取り組み観察などがあります。

各教科や単元によって、ペーパーテストによる評価が重視されるものや実技テストなどによる評価が重視されるもの、ノート・レポート・作品などによる評価が重視されるものなど違いがあります。

評価の資料は、各教科で定めた評価規準に基づいて点数化し、観点別に合計します。

(2) 観点別学習状況について

生徒の学習状況の評価は、目標に準拠した評価である観点別学習状況の評価を基本とし、学習指導要領に基づき3観点により、実現の状況を3段階で評価します。具体的には学習指導要領に示されている各教科の目標に照らして、その実現状況をA、B、Cの記号により示します。

評 価	評 価 の 内 容	達 成 度
A	十分満足できると判断されるもの	80% 以上
B	おおむね満足できると判断されるもの	50% 以上
C	努力を要すると判断されるもの	50% 未満

各教科の観点別学習状況の評価の項目（学習指導要領より）

教 科	観 点	教 科	観 点
国 語	知識・技能	美 術	知識・技能
	思考・判断・表現		思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度		主体的に学習に取り組む態度
社 会	知識・技能	保 健 体 育	知識・技能
	思考・判断・表現		思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度		主体的に学習に取り組む態度
数 学	知識・技能	技 術 家 庭	知識・技能
	思考・判断・表現		思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度		主体的に学習に取り組む態度
理 科	知識・技能	英 語	知識・技能
	思考・判断・表現		思考・判断・表現
	主体的に学習に取り組む態度		主体的に学習に取り組む態度
音 楽	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		

(3) 評価について

各教科別に学習指導要領に示されている目標に照らして、その実現状況を総合的に評価し、5段階で表します。

評 定	評 定 の 内 容	達 成 度
5	十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの	90% 以上
4	十分満足できると判断されるもの	80% 以上
3	おおむね満足できると判断されるもの	50% 以上
2	努力を要すると判断されるもの	20% 以上
1	一層努力を要すると判断されるもの	20% 未満

< 5段階評価の算出例 >

◇各観点の達成度をもとにして、評価を算出します。

例えば・・・

観 点	達成度	評価
知識・技能	85 %	A
思考・判断・表現	70 %	B
主体的に学習に取り組む態度	60 %	B

$$215/300 \times 100$$

71.6%



達成度の平均71.6%は、50%以上80%未満にあてはまるので
評価は **3** になります。

※ 各学年の3学期の評価に関しては、学年の評価とし、
1学期から3学期までの資料をもとにして算出します。

※ 第3学年2学期の評価に関しては、1学期と2学期の
両方の資料をもとにして算出します。



教科目標 身につけさせたい力		1 さまざまな文章を的確に読み取る力（評価項目①・②）。 2 様々な文章や物事に対して、主体的に考えて自分の意見をもつ力。 （評価項目②・③） 3 相手の立場や意見を尊重する中で、互いの意見を積極的に交流し合い、考えを磨き合っていく力（評価項目②・③）。 4 相手や目的や場面に応じ、筋道を立てて書いたり話したり聞き取ったりする力（評価項目①・②・③）。 5 読書に親しみ、語感を豊かにする力（評価項目①・②）。 6 音声、語句、語彙、文法、漢字などについて理解する力（評価項目①・②）。	
授業の形式		個人、グループ、全体での活動を各単元・学習内容に応じて組み合わせて行う （全学年）	
項 目	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
評価内容	○授業での取組み ○定期考査 ○小テスト など	○授業での取組 ○定期考査 ○小テスト など	○授業での取組 ○小テスト ○学習シート など

主な学習内容

1 学年	2 学年	3 学年
・ 文学的な文章（物語文）、説明的な文章、随筆（エッセイ）、詩、古典などの読み取り ・ レポート発表、スピーチ、意見交流会などの交流活動 ・ 漢字、文法、書写など言語に関わる学習	・ 文学的な文章（物語文）、説明的な文章、随筆（エッセイ）、詩、古典などの読み取り ・ レポート発表、スピーチ、意見交流会などの交流活動 ・ 漢字、文法、書写など言語に関わる学習	・ 文学的な文章（物語文）、説明的な文章、随筆（エッセイ）、詩、古典などの読み取り ・ レポート発表、スピーチ、意見交流会などの交流活動 ・ 漢字、文法、書写など言語に関わる学習

学習のポイント

《授業時》 ・ たくさん表現し合い、自分の考えを広げたり深めたり磨いたりすることを楽しみましょう。その際、根底に相手を尊重する心を大切にしましょう ・ 指示や条件を集中して聴き、とらえ、的確に課題にこたえることを意識しましょう。 ・ 「教えることは、二度学ぶこと」、教え合い、学び合いの輪を広げていきましょう。	《家庭学習》 ・ 文章は一度読んだだけでは深く理解できないことがあります。予習、復習で繰り返し読み、理解を深めましょう。 ・ 漢字など語句の理解は積み重ねが大きいです。授業だけでなく、家庭学習で繰り返し行い、定着させましょう。 ・ 出された課題は期限内に終わらせましょう。
--	---

社会

年間指導計画・評価計画

昭島市立拝島中学校

教科目標 身につけさせたい力	広い視野に立つ社会に対する高い関心。 諸資料に基づいて多面的・多角的に考察する力。 日本の国土と歴史に対する理解。 社会の形成者としての必要な公民としての資質。		
授業の形式	・個別の調べ学習 ・グループによる学習 ・講義形式 (学び合い活動、レポート、ディスカッション等の言語活動を意識した授業づくり)		
項 目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価内容	○定期考査 ○プリント課題 ○授業での取組 ○パフォーマンス課題	○定期考査 ○プリント課題 ○授業での取組 ○パフォーマンス課題	○ノート、プリント提出 ○調べ学習 ○授業での取組 ○振り返りシート ○単元のまとめシート ○パフォーマンス課題

主な学習内容

1 学年	2 学年	3 学年
【地理】 1、世界の姿 2、世界各地の人々の生活と環境 3、世界の諸地域 4、世界のさまざまな地域の調査 【歴史】 (1)歴史のとらえ方 (2)古代 ～ 中世 (～ 室町時代)	【地理】 日本のさまざまな地域 日本の諸地域 身近な地域の調査 【歴史】 近世 (江戸時代 ～ 明治時代)	【歴史】 幕末 ～ 現代 【公民】 1わたしたちの暮らしと現代社会 2人間を尊重する日本国憲法 3わたしたちの暮らしと民主政治 4わたしたちの暮らしと経済 5安心して暮らせる社会 6国際社会に生きるわたしたち

学習のポイント

《授業時》 ・積極的な授業参加 ・わからないことがあれば質問する ・本時の授業のねらいへの理解 ・単元を通した授業の理解を深める	《家庭学習》 ・授業内容の復習・予習 ・調べ学習 ・試験前に、試験範囲の確認
---	--

数学

年間指導計画・評価計画

昭島市立拝島中学校

教科目標 身につけさせたい力	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。		
授業の形式	一斉指導（1・2年） 少人数指導（3年 2クラス3展開・1クラス2展開）		
項 目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価内容	○授業での取組 ○定期考査 ○小テスト	○授業での取組 ○定期考査 ○小テスト	○授業での取組 ○提出物 ○振り返りシート

主な学習内容

1 学年	2 学年	3 学年
・正負の数 ・文字と式 ・方程式 ・比例と反比例 ・平面図形 ・空間図形 ・データの分析と活用	・式の計算 ・連立方程式 ・1次関数 ・平行と合同 ・三角形と四角形 ・確率 ・データの比較 ・箱ひげ図	・多項式 ・平方根 ・2次方程式 ・関数 $y = ax^2$ ・相似な図形 ・円 ・三平方の定理 ・標本調査

学習のポイント

《授業時》 ・授業の規律を守り、先生の話を中心して聞く。 ・間違いをおそれず、積極的に発言する。 ・忘れ物（特にコンパス・定規）をせず、授業に向けての準備を確実にやる。 ・わからない問題も、答えを待つのではなく、自分なりの考えや解答をもつ。	《家庭学習》 ・授業で学んだことを、その日のうちに復習し、理解を深める。疑問点は先生に質問し、早めに解決しておく。 ・問題集等で演習をたくさんする。その際、途中の手順を丁寧に書き、間違えた問題は解説を読み、理解したうえでもう一度取り組む。 ・宿題を確実にやる。
--	---

理科

年間指導計画・評価計画

昭島市立拝島中学校

教科目標 身につけさせたい力		自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養う。 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。			
授業の形式		一斉指導（1学年） 一斉指導（2学年） 一斉指導（3学年）			
項 目	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
評価内容	○授業での取組 ○定期考査 ○レポート		○授業での取組 ○定期考査 ○レポート		○授業での取組 ○提出物 ○振り返りシート

主な学習内容

1 学年	2 学年	3 学年
【物理・化学】 ・光と音の性質 ・力のはたらき ・物質の性質、 ・気体の性質 ・水溶液の性質 【生物・地学】 ・生物の観察 ・植物のなかま ・動物のなかま ・火山、地震、地層 ・大地の変動	【物理・化学】 ・電流 ・磁界 ・原子と分子 ・いろいろな化学変化 ・化学変化と物質の質量 【生物・地学】 ・細胞のつくり ・植物の体のつくりとはたらき ・動物の体のつくりとはたらき ・気象のしくみ ・天気の変化、日本の気象	【物理・化学】 ・力の合成と分解、浮力 ・物体の運動 ・仕事とエネルギー ・水溶液とイオン ・電池とイオン ・酸・アルカリとイオン 【生物・地学】 ・細胞分裂、遺伝、進化 ・食物連鎖と物質の循環 ・天体の動き ・太陽系と銀河系 ・自然環境と科学技術

学習のポイント

《授業時》 《授業時》 ・忘れ物をしない。 ・自然の事物や現象に関心をもって取り組む。 ・実験の予想や考察などの際、科学的に思考し、表現することを心がける。	《家庭学習》 ・新しく学んだ理科用語などはその日のうちに覚えるようにする。 ・次の授業を受ける前に、ノートやプリントを見直して前の授業の復習をしておく。 ・適宜、教科書や副教材などの問題演習に取り組む。
--	---

音楽

年間指導計画・評価計画

昭島市立拝島中学校

教科目標 身につけさせたい力		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことが出来るようにする。 (3)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。		
授業の形式		・一斉授業 ・個人練習 ・パート練習		
項 目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価内容	・実技考查 ・定期考查 ・ワークシート ・授業での取組		・実技考查 ・定期考查 ・ワークシート ・授業での取組	・実技考查 ・提出物 ・ワークシート ・授業での取組

主な学習内容

1 学年	2 学年	3 学年
○合唱 ・校歌、Let's Search For Tomorrow、各クラス自由曲、時を越えて等 ○器楽 ・ボディーパーカッション ・箏 等 ○鑑賞 ・ヴィヴァルディ『春』 ・シューベルト『魔王』 等 ○創作 ・作曲ソフトカトカトーン	○合唱 ・Fourteen、各クラス自由曲 等 ○器楽 ・ボディーパーカッション ・箏 等 ○鑑賞 ・ベートーヴェン『運命』 ・ヴェルディ『アイダ』 等 ○創作 ・創作ソフトカトカトーン	○合唱 ・大地讃頌 ・旅立ちの日に ・各クラス自由曲 等 ○器楽 ・ボディーパーカッション ○鑑賞 ・交響詩『ヴルタヴァ』 ・オペラやミュージカル 等 ・西洋音楽史 ○創作 ・創作ソフトカトカトーン

学習のポイント

《授業時》 ・説明を聞くととき、練習をするときのメリハリをきちんとつけましょう。 ・得意不得意に関わらず、あきらめずにパート練習や合唱練習に取り組みましょう。 ・楽譜に慣れましょう。	《家庭学習》 ・既習事項は正しく書けるようによく整理し、復習をしておくこと。 ・生活の中にあふれた音や音楽によく耳を澄まし、様々な種類の音楽に興味をもってほしいです。
--	---

美術

年間指導計画・評価計画

昭島市立拝島中学校

教科目標 身につけさせたい力		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組めるようにする。	
授業の形式		作品づくりの実技、座学	
項 目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価内容	・学習プリント ・作品 ・レポート ・定期考査	・学習プリント ・アイディアスケッチ ・作品 ・定期考査	・授業での取組 ・作品 ・進度表 ・定期テスト ・鑑賞シート

主な学習内容

1 学年	2 学年	3 学年
・素描 ・レタリング ・色彩の基本 ・立体作品 ・平面作品 ・鑑賞	・遠近法 ・立体作品 ・平面作品 ・鑑賞	・仏教美術 ・立体作品 ・平面作品 ・鑑賞

学習のポイント

《授業時》 ・授業の初めにある「本時の課題の説明・注意事項」をしっかりと聞いて、やることを理解して、計画的に制作する。 ・課題に対して創意工夫し、真剣に取り組む。	《家庭学習》 ・作品のアイデアが授業中に描けなかった生徒や、作業が大幅に遅れてしまう生徒は、宿題として持ち帰ることがあります。 ・長期休業中の宿題については適宜お知らせします。
---	--

保健体育

年間指導計画・評価計画

昭島市立拝島中学校

教科目標 身につけさせたい力	・挨拶、礼儀、規律を大事にして集団で行動していく姿勢。 ・運動の習慣化を通して、運動の特性、基礎・基本、課題解決能力。 ・仲間を尊重する態度、仲間との協力。		
授業の形態	校庭・体育館・柔道場・プールにおける実技、保健は教室で座学や実習		
項 目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価内容	○実技考査 ○実技評価 ○授業時の見取り ○定期考査	○自己課題への取組 ○学習カード ○定期考査	○授業での取組 ○準備、片付け ○挨拶、礼儀 ○仲間との協力 ○学習カード

主な学習内容

1 学年	2 学年	3 学年
体育分野		
・体づくり運動 ・器械運動 ・陸上競技 ・水泳 ・球技 - バレーボール - バスケットボール - ソフトボール - サッカー ・武道 - 柔道 ・ダンス ・体育理論	・体づくり運動 ・器械運動 ・陸上競技 ・水泳 ・球技 - バレーボール - バスケットボール - ソフトボール - サッカー ・武道 - 柔道 ・ダンス ・体育理論	・体づくり運動 ・器械運動 ・陸上競技 ・水泳 ・球技 - バレーボール - バスケットボール - ソフトボール - サッカー ・武道 - 柔道 ・ダンス ・体育理論
保健分野		
(1) 心身の機能の発達と心の健康 (1 年) (2) 健康と環境 (3 年) (3) 傷害の防止 (2 年) (4) 健康な生活と疾病の予防 (1・2・3 年)		

学習のポイント

《授業時》 ・挨拶や礼儀、時間を守るなど集団として動きを理解し、実践できること。 ・規律を重んじながら、運動の楽しさを学び、自主的に取り組めること。 ・仲間を尊重し、協力しながら授業に取り組めること。	《家庭学習》 ・体育の授業以外にも運動を取り入れ、運動に対する知識と態度を身につけること。 ・定期テストへの取り組みとして、各種目のルールや測定方法、器具や用具の名称などをしっかり覚えていくこと。
---	--

教科目標 身につけさせたい力		生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。	
授業の形式		教室での座学、木工室・金工室・パソコン室での実習、調理室・被服室での実習	
項 目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価内容	○授業での取組 ○作品、実習中の進捗・技能・取組 ○定期考査	○授業での取組 ○作品、実習中の進捗・取組 ○定期考査	○授業での取組 ○作品、実習中の進捗・取組 ○振り返りカード

主な学習内容

1 学年	2 学年	3 学年
材料と加工の技術 情報の技術 家族・家庭や地域とのかかわり 私たちの衣生活 生活を豊かにする製作 私たちの住生活	生物育成の技術 エネルギーの変換の技術 食生活と自立 調理実習 消費生活と環境	情報の技術 子どもの成長 わたしたちと家族・地域

学習のポイント

《授業時》 忘れ物をしない。 授業をきちんと聞いてノート、プリントに書くこと。 ていねいな製作を心がける。 作品は必ず完成させる。	《家庭学習》 あらゆるものがどのようにできているのか興味をもつ。 家事の手伝いをして、実践から学んでみる。 定期テスト前の学習にしっかり取り組む。
--	---

教科目標 身につけさせたい力	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。		
授業の形式	一斉指導（１・２年） 少人数指導（３年 ２学級３展開／１学級２展開）		
項 目	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価内容	○英語の文の特徴やきまりを理解している。 ○英語の文の意味や働きの理解をもとに、英語を活用する技能を身につけている。 ○定期考査 ○小テスト・パフォーマンステスト	○英文を聴いたり読んだりして必要な情報や概要を聞き取ったり読み取ったりすることができる。 ○既習事項を用いて、目的・場面・状況を整理し、話したり伝え合ったり書いたりすることができる。 ○定期考査 ○小テスト・パフォーマンステスト	○英文を聴いたり読んだりして必要な情報や概要を聞き取ったり読み取ったりしようとしている。 ○既習事項を用いて、目的・場面・状況を整理し、話したり伝え合ったり書いたりしようとしている。 ○提出物の取組 ○小テスト・パフォーマンステスト ○授業での取組 ○振り返りカード

主な学習内容

1 学年	2 学年	3 学年
be 動詞（現在・過去） 一般動詞（現在・過去） 助動詞（can） 命令文、否定命令文 進行形（現在・過去） 疑問詞を使った疑問文 (What, Who, Whose, Where, When, Which, What time, How many) 未来形（will, be going to）	接続詞（that, when, if, because） 不定詞（名詞的・副詞的・形容詞的） It is ... (for A) to～. 助動詞（may, must） There is ～. / 動名詞 SVOO, SVOC の文 have to, don't have to 比較級・最上級・同等比較 疑問詞 + to ～ / 現在完了形	現在完了進行形 受動態 分詞の後置修飾 関係代名詞 接合節 仮定法過去 間接疑問文 help + O + 動詞の原形

学習のポイント

《授業時》 言語使用の目的・場面・状況を捉え、集中して授業を受ける。 音読はしっかりと声を出す。 積極的に授業に参加し、理解できないことは質問する。	《家庭学習》 授業で習った教科書のページを音読する。 授業で学習した範囲のワークや練習問題を、記憶が新しいうちに解き、定着を図る。
---	---